

港中だより

伊勢市立港中学校 No.9

R4. 9. 9

校長 清水 能人

◇全国学力・学習状況調査結果について◇

4月19日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。この調査は3年生のみのもので、今年度は国語・数学・理科の3教科と、生活や教科への関心など、教科以外の生徒質問紙で実施されました。つきましては港中学校の今回の結果について報告します。

国語については、全部で14問あり、平均正答数は全国で9.7問、三重県は9.6問、港中は8.7問となり、全国・三重県平均より1ポイント程下回りました。数学については、全部で14問あり、平均正答数は全国で7.2問、三重県は7.3問、港中は5.8問となり、全国・三重県より1.5ポイント程下回りました。理科については、全部で21問あり、平均正答数は全国で10.4問、三重県は10.1問、港中は8.8問となり、全国・三重県より1.5ポイント程下回りましたが、大きく開きがあるわけではありませんでした。これまでも港中は「記述式」の回答方法が苦手なところがありましたが、これから実施される定期テストや、入学試験などで、「わからないからもういいや」といって何も書かずに終わらせてしまうのではなく、途中までもいいので自分の考えられるところまで答えを書くという事が大切です。どの教科でも、ここまで考えた等の、取り組み状況を残す努力を行ってほしいです。また、記号についても少しでも自分の答えに近いものを書くことが大切です。あきらめないでほしいです。今回の調査はこれまで（主に中学校2年生まで）の学習内容に関する理解を確認するためのものですが、未消化になっているところをそのまま放っておくのではなく、今のうちに確認するいい機会にしてほしいです（3年生のお子様には8月29日に今回の学力調査個人票を返してあります）。結果が平均より良かったかどうかだけでなく、どの問題が正答でどの問題が誤答だったかがわかるので、問題を見て振り返ってもらおうとよいかと思います。これからも3年生のみなさんはもちろん、1、2年生のみなさんも学校の授業を中心とした学習に励んでください。

1. 学力調査でわかってきたこと

(1) 国語について

全国平均・県平均を下回っていましたが、大きな開きではありませんでした。特に補強しておいてほしい分野が記述問題です。「自分の考えや、その理由を記述する」分野と、「相手に伝えること（話すこと）」「相手の話を聴くこと」の分野です。どのように工夫すると相手に伝わるか、相手の話す意図が理解できるのか、文章の中から何を伝えようよしているのか（読み取り）と、自分の考えや理由を伝える（記述）ことができるようになってほしいです。要するに「相手の意図を読み取り、自分の考えを述べる」といった「伝え合う力」をこれからしっかり身につけてもらいたいです。この課題は、国語科ではもちろんですが、他教科の授業でも言葉や文章での対話活動を通し、深い学びを行っていく場面を盛り込んでおりますので、**対話活動**を大切にしていけることが重要です。また、読み取る力「読解力」を培うためには、読書の習慣が大切です。すぐにつく力ではありませんが、活字を目で追いかける（活字に慣れる）練習を日ごろから続けていくことによって誰にでもつく力です。最後にもう一つ、「比喩・直喩」等の表現技法の理解と名称を確認しておく必要があります。

(2) 数学について

数学についても国語と同様のことがいえる部分がありました。基礎的な問題は点数が取れていましたが、やはり文章題（発展型の問題）に対しては苦手なのでしょうか。文章題で何を問われているのかわかり理解したうえで答えられるよう、これからさらに努力を重ねて力をつけていってほしいと思いま

す。また、「関数」の分野で、座標を求める問題（グラフ）と、条件を記述する証明問題においても確認しておく必要があります。

（3）理科について

「生物分野」の補強が必要です。また記述問題の解答においてもキーワードをしっかりと記述し、明記する内容をわかりやすく回答していく等の改善点もわかってきました。

2. 学習状況（生徒質問）・学校調査について

※生徒質問用紙から全国と比較して積極的な部分、改善点を報告します。数字はおおよそのものです。

○積極的な部分

（国語が好き 60% 数学が好き 60% 英語が好き 55%）

- ・自分には良いところがある。 74%
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げる 90%
- ・人が困っているときは進んで助ける 87%
- ・いじめはどんな理由があってもいけないこと 90%
- ・友人と協力することは楽しいと思う 90%

◎教科への興味・関心度も比較的高いことと、共同活動の意識や仲間意識、自己肯定感も高いことが窺われます。

○改善点

- ・携帯電話、ゲーム機などを使っての、平日のゲームの時間について

全国では2時間以内が38%程度で、港中は22%（全くやらない人が7%）。ということは約71%が平均2時間以上、平日毎日ゲームをしているということです。ちなみに4時間以上の生徒は32%いました。また、平日3時間以上勉強する割合は、全国10%、港中11%でした。休日は全国21%、港中18.4%でした。学習時間の全国平均との開きはあまりないということは、ゲーム機などの使用が睡眠時間を削っている可能性があります。私が校内巡視中に、担当教科職員もこまめに声掛けはしておりますが、授業中居眠りをしている生徒の姿も見られますので気になっているところではありました。家の人と決めた使い方のルールを守っている人は、全国とほぼ同じ62%でした。これを見ると、使用時間のルールが少し幅広い状況にあるのかもしれませんが。各家庭での睡眠時間や家庭学習の時間を増やせるよう、ルールを再検討していただくのがよいのかもしれない。

3. 今後の取り組みについて

本校では調査の結果をしっかりと受け止め、積極的な部分をさらに伸ばし、課題を改善できるよう検討してまいります。授業については、今後も引き続き新学習指導要領に基づき授業の改善に努めるとともに学習の基礎基本の充実に取り組んでいきます。また、授業では、生徒一人ひとりの自己有用感を大切に場面を設定し、対話的な学習活動を盛り込んだ深い学びができるように、指導方法の改善に努めていきたいと思っております。また、タブレット端末内にある題材を利用し、家庭学習の習慣を身に付けられるようにしていきたいと思っております。

これからもご家庭や地域のみなさまと連携し、生徒の成長を支援していきたいと考えます。どうかご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。

◇第2回みえスタディチェックについて◇

1月下旬～2月上旬頃に2年生を対象に、第2回みえスタディチェックが行われます。今回は国語、数学の2教科で実施されます。今回もCBT（Computer Based Testing）システムといってタブレットで出題され、解答していく問題です。第1回のスタディチェックで2年生はほぼ県平均に近い結果だったので、県平均を上回る結果が出せるといいと思っております。